

世界の有機 EL ディスプレイ産業動向

World OLED Display Industry Report

- 用途別の有機 EL ディスプレイの基礎・応用技術を紹介！
- 各メーカーの有機 EL ディスプレイ・関連部材の戦略をカバー！
- 韓国・中国・台湾の産業界の動向、開発戦略を探る！
- 注目の“マイクロ LED ディスプレイ”の動向を紹介！

＜発行要項＞

- 発行：2017年12月25日発行
- 定価： 冊子版 100,000円+税
冊子+PDF 110,000円+税
- 体裁：A4判・並製・196頁
- 編集・発行：(株)シーエムシー・リサーチ
- ISBN 978-4-904482-40-7

＝ 刊行にあたって ＝

自発光のため原理的に薄型・軽量で高画質な、究極のディスプレイ技術と呼ばれる有機 EL は、小型や大型の応用製品を中心に急速に市場拡大を続けている。有機 EL は、有機材料を素子に使うことから信頼性が懸念されていた。しかし、ゲーム機やスマートフォン用途をはじめとする中小型パネルの領域では、量産技術はほぼ確立した。これからは、スマートフォンのメインディスプレイに多く使われる小型パネルだけではなく、大型化により性能を最大限に享受できるテレビ用途への本格普及も近いと思われる。

さらに、有機 EL ディスプレイのフレキシブル化の進展で、基板がプラスチックとなり、このために新しい封止技術やレーザーリフトオフ (LLO) 技術が採用されている。透明配線も新材料に移行し、基本性能も生産プロセス技術・生産管理も未発達の部分がまだ多く残されている。しかし最近では、サムスンがスマートフォン向けに2018年11月か12月からのフォーダブルディスプレイの製造を決定し、量産技術も確立したと思われる。

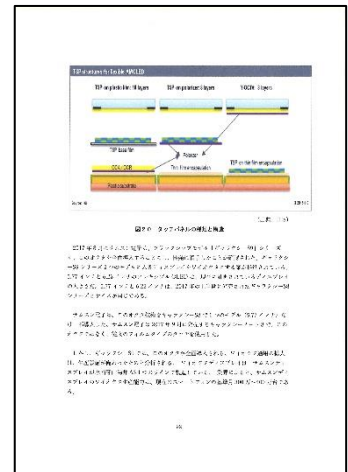
本書では、用途別の有機 EL ディスプレイの基礎技術、各技術の特徴、これまでの技術開発の経緯と残された課題、ディスプレイへの応用動向、現状の生産プロセスと課題など、世界の有機 EL の全般動向を網羅的にわかりやすく解説するように努めた。

今日の有機 EL の広がりには確かなものであり、ひとつの巨大な産業市場を作ってゆくことは間違いないと考える。これからの産業を支える有機 EL を理解するために、本書をぜひともお役立てください。

服部 寿

表1 各用途別の有機 EL ディスプレイの市場シェア

用途	地域	メーカー	市場シェア (%)
スマートフォン	韓国	サムスン	45.2
	中国	京セラ	32.1
	台湾	友達	18.7
テレビ	韓国	サムスン	38.5
	中国	京セラ	25.3
	台湾	友達	15.8
ノートパソコン	韓国	サムスン	22.1
	中国	京セラ	18.9
	台湾	友達	12.4



注文書		メルマガ会員の登録	登録済み / 登録希望
品名	世界の有機 EL ディスプレイ産業動向	価格	書籍：100,000円+税 PDF版：100,000円+税 セット：110,000円+税 ※メルマガ会員は定価の10%OFF
会社名		TEL	
部課名		FAX	
お名前		E-mail	
住所	〒		

お申込み・お問合せ

編集発行：
(株)シーエムシー・リサーチ
101-0054
東京都千代田区神田錦町
2-7 東和錦町ビル3F

TEL: 03 (3293) 7053
FAX: 03 (3291) 5789
URL: <http://www.cmcre.com>
E-mail: re@cmcre.com

*書籍はご注文を受けた翌営業日に納品書・請求書とともに送付します。
*お支払いは請求書指定口座に納品日の翌月末日までに振り込みをお願いします。

構成および内容

第1章 有機EL ディ스플레이パネルのアプリケーション、市場規模予測、投資

- 1-1. 有機EL ディ스플레이産業の全体動向
 - 1-1-1. 有機EL ディ스플레이の市場拡大
 - 1-1-2. スマートフォンの市場動向
 - 1-1-3. サムスンディスプレイの動向
 - 1-1-4. LG ディ스플레이の動向
 - 1-1-5. テレビ用有機EL パネルの市場動向
 - 1-1-6. マイクロLED ディ스플레이
 - 1-1-7. 有機EL 関連部材
- 1-2. 中小型ディスプレイパネルの開発と製造の動向
 - 1-2-1. アップルでの採用の影響
 - 1-2-2. サムスンディスプレイのロードマップ
 - 1-2-3. SID 2017 でのストレッチャブル OLED などの展示
 - 1-2-4. LG ディ스플레이
 - 1-2-5. 中国のパネルメーカ
 - 1-2-6. 小型有機EL パネル向けの材料と部品
- 1-3. 大型ディスプレイパネルの開発と製造の動向
 - 1-3-1. 有機EL テレビ
 - 1-3-2. デジタルサイネージ
 - 1-3-3. 透明フレキシブル有機EL ディ스플레이
 - 1-3-4. インクジェット印刷方式のプロセス
- 1-4. 自動車向けディスプレイパネルの動向
- 1-5. マイクロディスプレイパネルの動向

第2章 韓国産業界の動向、開発戦略、開発課題

- 2-1. 小型と中型 AMOLED パネルのプロセス装置と材料

- 2-1-1. 有機EL 材料
- 2-1-2. 有機EL 蒸着装置と蒸着源
- 2-1-3. 蒸着用メタルマスク
- 2-1-4. 電極材料
- 2-1-5. 封止
- 2-1-6. タッチパネルと偏光フィルム
- 2-1-7. 粘着剤・接着フィルム
- 2-1-8. カバーウィンドウ
- 2-2. 大型有機EL パネルのディスプレイ構造と材料
 - 2-2-1. トップエミッション
 - 2-2-2. インクジェット印刷装置と発光材料
 - 2-2-3. 透明ディスプレイ
- 2-3. 韓国の製造装置業界の動向
 - 2-3-1. 全体動向
 - 2-3-2. AP システム
 - 2-3-3. SFA
 - 2-3-4. ビアトロン
 - 2-3-5. JUSUNG ENGINEERING
 - 2-3-6. HB テクノロジー
 - 2-3-7. その他のメーカ (YAS、WONIK、IPS、テス、IDC、INVENIA、Youngwoo dsp、VESSEL)
- 2-4. 国の部材・材料業界の動向
 - 2-4-1. i-components
 - 2-4-2. SKC コーロン PI
 - 2-4-3. イノックス
 - 2-4-4. KOLON Industries
 - 2-4-5. ウェーブエレクトロニクス
 - 2-4-6. イグゼックス

第3章 中国産業界の市場動向、開発戦略、開発課題

- 3-1. BOE
- 3-2. Visionox
- 3-3. EDO(上海和輝光電)
- 3-4. Royole
- 3-5. CSOT
- 3-6. 天馬
- 3-7. Truly (信利光電)
- 3-8. 吉林 OLED

第4章 台湾産業界の動向、開発戦略、開発課題

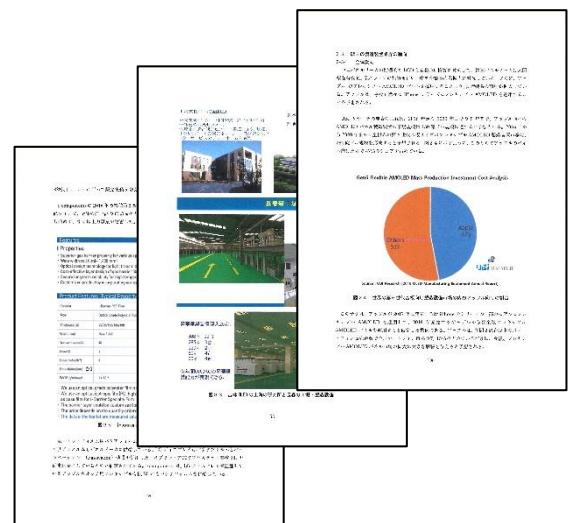
- 4-1. AUO
- 4-2. ホンハイ/シャープ
- 4-3. Innolux
- 4-4. アップル生産研究所

第5章 欧米の産業界の動向、開発戦略、開発課題

- 5-1. Fraunhofer
- 5-2. サイノラ (Cynora)
- 5-3. Novaled
- 5-4. UDC
- 5-5. Merck
- 5-6. DuPont
- 5-7. Kateeva

第6章 日本の産業界の動向と戦略

- 6-1. ジャパンディスプレイ/JOLED
- 6-2. JOLED
- 6-3. 住友化学
- 6-4. 出光興産
- 6-5. 新日鉄住金化学
- 6-6. 三菱ケミカル
- 6-7. SCREEN ホールディングス
- 6-8. 保土谷化学工業
- 6-9. Kyulux
- 6-10. キヤノントッキ



お問い合わせ シーエムシー・リサーチHP <http://www.cmcre.com>

TEL : 03-3293-7053 FAX : 03-3291-5789 E-mail : re@cmcre.com